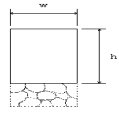
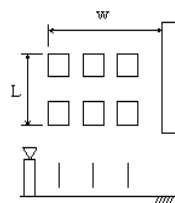
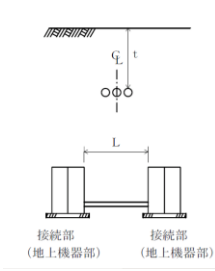
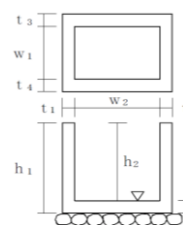
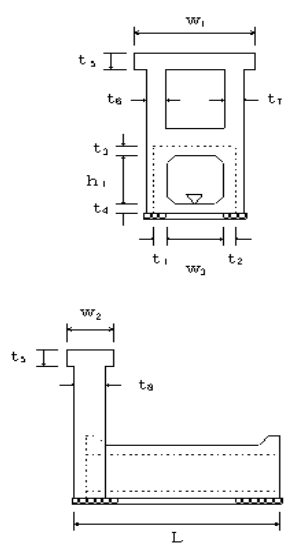
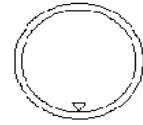


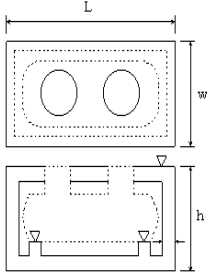
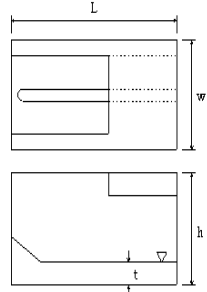
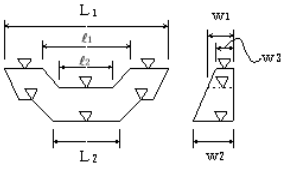
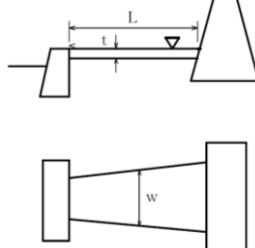
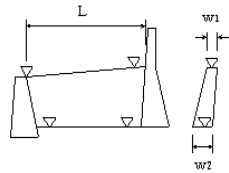
出来形検査基準規格値 (単位mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
第1章 築堤護岸工	第1節 1-1 河川幅	W ≤ 5m	-50	施工延長100mにつき1箇所以上測定。		
		5m < W ≤ 20m	-80			
		W > 20m	-W/250			
	第7節 法覆護岸工 1-7-4 護岸付属物工	幅 w	-30	施工延長100mにつき1箇所以上測定。		
		高さ h	-30			
	第8節 水制工 1-10-8 杭出し水制工	基準高 ▽	±50	施工延長100mにつき1箇所以上測定。		
		幅 w	±300			
		方向	±7°			
		延長 L	-200			
	第13節 光ケーブル配管工 1-13-3 配管工	埋設深 t	0~+50	施工延長100mにつき1箇所以上測定。		
		延長 L	-200			
1-13-4 ハンドホール工	基準高 ▽	±30	5基につき1箇所以上測定。 ※は現場打部分のある場合			
	※厚さ t <sub>1</sub> ~ t <sub>5</sub>	-20				
	※幅 w <sub>1</sub> , w <sub>2</sub>	-30				
	※高さ h <sub>1</sub> , h <sub>2</sub>	-30				
第3章 樋門・樋管 第3節 樋門・樋管本体工 3-5-6 函渠工 (本体工)	基準高 ▽	±30	柔構造樋門の場合は埋戻前 (載荷前) に測定する。			
	厚さ t <sub>1</sub> ~ t <sub>8</sub>	-20				函渠寸法は、両端、施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所にて任意の部分を選定。 門柱、操作台等は、図面の寸法表示箇所にて任意の部分を選定。 プレキャスト製品使用の場合は、製品寸法を規格証明書で確認するものとし、『基準高』と『延長』を測定。
	幅 w <sub>1</sub> , w <sub>2</sub>	-30				
	内空幅 w <sub>3</sub>	-30				
	内空高 h <sub>1</sub>	±30				
	延長 L	-200				
	函渠工 (ヒューム管) (PC管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)	基準高 ▽	±30	施工延長100mにつき1箇所以上測定。		
		延長 L	-200			

出来形検査基準規格値 (単位mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
第3章 樋門・樋管	3-5-7 翼壁工 3-5-8 水叩工	基準高	▽ ±30	図面の寸法表示箇所にて任意の部分 を測定		
		厚さ	t			-20
		幅	w			-30
		高さ	h			±30
	延長	L	-50			
第4章 水門	4-6-7 床版工 4-6-8 堰柱工 4-6-9 門柱工 4-6-10 ゲート操作台工 4-6-11 胸壁工	基準高	▽ ±30	図面の寸法表示箇所にて任意の部分 を測定		
		厚さ	t			-20
		幅	w			-30
		高さ	h			±30
		延長	L			-50
第5章 堰	5-6-13 開門工 5-6-14 土砂吐工	基準高	▽ ±30	図面の寸法表示箇所にて任意の部分 を測定		
		厚さ	t			-20
		幅	w			-30
		高さ	h			±30
		延長	L	-50		
	5-7-8 堰本体工 5-7-9 水叩工 5-7-10 土砂吐工	基準高	▽ ±30	基準高、幅、高さ、厚さは両端、 施工継手箇所及び構造図の寸法表 示箇所にて、任意の部分測定。		
		厚さ	t			-20
		幅	w			-30
		高さ	h			±30
	堰長L	L < 20 m	-50			
	L ≥ 20 m	-100				
第8章 魚道工	5-8-3 魚道本体工	基準高	▽ ±30	施工延長100mにつき1箇所以上 測定。 製品使用の場合の製品寸法は、規 格証明書等による。		
		厚さ	t <sub>1</sub> , t <sub>2</sub>			-20
		幅	w			-30
		高さ	h <sub>1</sub> , h <sub>2</sub>			-30
		延長	L			-200
第7章 管理橋下部工	5-9-2 管理橋橋台工	基準高	▽ ±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両 端部、その他は図面の寸法表示箇 所にて任意の部分測定。		
		厚さ	t			-20
		天端幅	w <sub>1</sub> (橋軸方向)			-10
		天端幅	w <sub>2</sub> (橋軸方向)			-10
		敷幅	w <sub>3</sub> (橋軸方向)			-50
		高さ	h <sub>1</sub>			-50
		胸壁の高さ	h <sub>2</sub>			-30
		天端長	l <sub>1</sub>			-50
		敷長	l <sub>2</sub>			-50
		胸壁間距離	φ			±30
支点長及び 中心線の変化		±50				
第6章 排水機場	6-4-6 排水機場本体工 吐出水槽工本体工	基準高	▽ ±30	図面の表示箇所にて、任意の部分 を測定。		
		厚さ	t			-20
		幅	w			-30
		高さ	h <sub>1</sub> , h <sub>2</sub>			±30
		延長	L			-50

出来形検査基準規格値 (単位mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
第6章 排水機場	第4節 排水機場 燃料貯油槽工	基準高 $\nabla$	$\pm 30$	図面の表示箇所、任意の部分を測定。			
		厚さ t	-20				
		幅 w	-30				
		高さ h	$\pm 30$				
		延長 L	-50				
第5節 沈砂池工	排水機場 コンクリート床版工	基準高 $\nabla$	$\pm 30$	図面の表示箇所、任意の部分を測定。			
		厚さ t	-20				
		幅 w	-30				
		高さ h	$\pm 30$				
		延長 L	-50				
第7章 床止め・床固め	第4節 床止め工	基準高 $\nabla$	$\pm 30$	図面の表示箇所、任意の部分を測定。			
		天端幅 $w_1, w_3$	-30				
		堤幅 $w_2$	-30				
		堤長 $L_1, L_2$	-100				
		水通しの幅 $\phi \square \phi \square$	$\pm 50$				
	第4節 水叩工	水叩工	基準高 $\nabla$	$\pm 30$	図面の表示箇所、任意の部分を測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。		
			厚さ t	-30			
			幅 w	-100			
			延長 L	-100			
第5節 側壁固め工	側壁工	基準高 $\nabla$	$\pm 30$	図面の表示箇所、任意の部分を測定。 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。			
		天端幅 $w_1$	-30				
		堤幅 $w_2$	-30				
		長さ L	-100				